

登録コード	A3595459	開講年度	2026				
授業科目	専攻研究					担当教員	阿久津 雅子
英文授業名	Thesis Research						
単位数	5	講義期間	前期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】	
	2 0 2 2 Aカリ，2 0 2 1 Aカリ，2 0 2 0 Aカリ，2 0 1 9 Aカリ						
	【2022年度以前加付対象】専門的な知識や研究能力を修得している					専門的な知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している	
	【2022年度以前加付対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している					地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している	
	2 0 2 6 A3 編（24A），2 0 2 5 A3 編（23A），2 0 2 4 Aカリ，2 0 2 3 Aカリ						
	【2024年度以前加付対象】専門的な知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。					専門的な知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している	
	【2024年度以前加付対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。					地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している	
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	担当教員や研究室の同級生，先輩，後輩と協力をしながら，植物の栽培や培養などを行う						
(5)授業計画	基本的には園芸作物を対象として，研究テーマを決め，実験計画を立て，研究を行う						
(6)自主学習の指針	自分の研究に必要な論文や教科書などで知識を加えながら，園場などで実践することで身につけていく						
(7)成績評価の基準	1．各自で研究テーマを設定し，計画を立て，研究に取り組む 2．研究室の研究テーマの概要を理解する 3．研究によって生じたデータをまとめる *上記それぞれに関して，評価を行う 最後の15分間は授業アンケートに回答するための時間とします						
(8)事前事後学習の内容	「自主学習の指針」と同様						
(9)テストやレポートの予定	卒業論文として最終年度の後期にまとめる						
(10)成績評価の方法	1．各自で研究テーマを設定し，計画を立て，研究に取り組む（50％） 2．研究室の研究テーマの概要を理解する（25％） 3．研究によって生じたデータをまとめる（25％）						
(11)質問、相談への対応および連絡先	随時． 園芸学研究室 阿久津 雅子 akutsu@shinshu-u.ac.jp						
(12)履修上の注意	健康管理に気をつける						
【教科書】	なし						
【参考書】	なし						